

令和２年度 第２回 下呂市地域公共交通会議 会議録

日 時 令和３年２月１７日（水）午後３時～午後４時３０分

場 所 下呂市民会館 大会議室

出席者 １７名（代理出席含む） 欠席２名

１．開会

２．市長挨拶

３．協議事項

■課長

それでは協議事項に移ります。下呂市地域公共交通会議設置要綱第５条第１項の規定により議長は、会長が務めることとなっております。このあとの進行については会長であります市長、よろしくお願いします。

◆市長

それでは、議長を務めさせていただきます。議事進行にご協力をお願いします。

議第１号「デマンド馬瀬の見直しについて」事務局より説明をお願いします。

▲事務局

【議第１号の説明】

◆市長

只今の説明に、ご質問ご意見はございませんか？

◆市長

デマンド馬瀬の見直しにつきましても昨年から色んなご指摘を頂きまして、昨年から始まったものなので最初から全て完璧にできるものではないとは思っている。それを少しずつ見直しながら意見をお聞かせ頂きながら運行している。今日は事業者の方々にも出席頂いている。濃飛バスさんには運行についてお願いをしている。まだまだ足りない部分もあるかと思うので色々ご質問して頂き意見をお聞かせ頂ければと思う。

◆ライドシステム・野中委員

馬瀬地域の路線の配置には苦勞されていると思う。下呂から見たときに馬瀬振興事務所の北側と南側でルートに分ける方が合理的ではないか。

美樹の里まで下りてきて下呂へ戻るとなると最初に乗った方が１時間ほど乗

ってなければいけない。馬瀬の人口バランスの関係もあると思うが、振興事務所を境にしたルート設計は難しかったのか？

▲事務局

2台が同じような時刻表をもつことになる。それよりかは便数を稼ぐ方を優先した。濃飛さんとも詰めながら設定し、何本も走らせるにはこのスタイルがいいのではないかと考えた。

◆ライドシステム・野中委員

馬瀬の自治会長さんはどうでしょうか？なにか地域からの意見はありましたか？

◆馬瀬地域自治会連合会会長・大屋様

馬瀬の地形上バスの運行が多いにこした事はないが、今のところこの状態で利用してもらっている。今後問題点など出てれば改善点を要望していく。スクールバスと兼用の運行という事で、バスの大きさが限られてしまい路線が細い道に入っていけずバス停が設置できないという事があった。今回それを改善していただき有難く思います。

◆市長

バス2台というのは、10人乗りを2台。スクールバスは28人乗り。だから非常にコンパクトで狭い道にも対応できる。そういった意味で10人乗りを2台という運行計画になっている。

◆岐阜大学・倉内教授

確かにグルッと一度下へ回るというのは大変ではある。ただ一方で乗継ぎみたいになるのとどちらがいいのか？という兼ね合いになる。例えば、2本に1本北、南だけ回って真ん中の地点で乗り継いで頂く。乗継ぎというのも皆さんやりにくい所もあると思うので、その辺りは地元の方の意見を頂ければと思う。

◆下呂温泉観光協会会長・瀧委員

内容をもっと乗せるべき。省略しすぎ。僕らも会議に出る以上そういうものが見えて「だからこうなったんだ」と理解したい。自分では分かっているけど一つ一つ文字に残すべき。その辺の資料作りをやってもらいたい。今回で言うのが三回目だが中々直らないので...

もう一つは、デマンドになってニーズが増えたのかという事。それも分かるようにしてもらいたい。数字は大事だし、その数字と観光の方の数字を照らし合わせて考えられるので資料作りに関してはもう少し丁寧をお願いしたい。

◆市長

瀧さんのおっしゃる通りで、私が見た時も資料No.3にはやった日にちは書いてあるが、「こういう話があったからこのような見直しに繋がってくる」という内容がない。誰の意見からなのかなど事務局はちゃんと筋道を立てて出来るようにやって頂きたい。

改めて、主な見直し点というのは4回の会合状況の中から出てきた事という事でいいのかだけ事務局から説明をお願いします。

▲事務局

おっしゃる通り4回の会合をへてこのような物に至った。第1回は当初よりデマンド馬瀬についてはスタートから詰まっていた事もあり、皆様からご意見頂いていた。2回目以降はこちらから示させて頂き検討させてもらった。3回目以降は微調整し、最後4回目で最終案の方を決定し皆様に承認いただいた。資料の作成の仕方を変えていくようにする。

◆岐阜運輸支局・久世委員

利便性の向上をするのは大切な事だが、その一つとして乗降場所を増やすという事も重要。一方であまりにも乗降場所が多いとなると定時制が守れない、運行上の危険性、リスクが発生してくる。意見を吸い上げて停留場を増やしている訳ではないと思うが、特に今回は一つの地区で結構増えている停留場がある。濃飛さんそこは増やしても定時制を確保できると了承があつてではあると思うが、そこは慎重に今後変更した後に定時制が守られているか、危険性がないか事業者側からの相談を受けてもらえればと思う。

▲事務局

大きい車両が特に入らなかったエリアになるので車両の小型化からそういう事が可能になった事は利便性が向上していると思う。おっしゃられる通り情報が少ない場所については見直していく事も地域の皆様と考えていきたい。

◆岐阜運輸支局・久世委員

資料4の方で稼働日の稼働率が出ているが、今回車両が小さくなるという事でそのまま頭割りすると1便当たり5名くらい平均になると思うが、住民の利用率の平均が15名となると超えてくると思われるがその点は確認しているのか？

◆濃飛バス・有路委員（代理）

利用者数だが実は小学生だけの数字になっているので実際のご利用の方の実態でいうとワゴン車でも大丈夫。ただ、10人乗りの話があり利用実態を見ながらどこかでは10人、9人乗りに変更していきたい。現行のハイエースでは4列目にも椅子がある客席12人の車を使用する予定。大きさはワンボックスだが2ナンバーの車を使う予定なので現状小学生を入れてなんとか

乗れる人数の車なので大丈夫かと考えている。

◆市長

資料 4 の一番上の利用者数の話だと思います。1551 という事だが実際はスクールバスの生徒さんの人数を引けば十分 10 人乗りで運行できるという説明だった。ちなみに私も確認したが 1551 のうち生徒さんを除くと 1381 という数字を事務局から頂いている。1381 で行って帰ってくるから実際の乗降客は割る 2 で 690 くらいになる。最後にこれを運行することになると予算は若干膨らむ。昨年よりも当然膨らんだ予算になるのでその辺りも今後の課題になる。お金の話になるがこれは市民の足で公共交通の宿命なのでそれはやむを得ないし、やはり利便性を重視すべき。

それでは、他に無いようですので、採決いたします。賛成の方は挙手をお願いいたします。賛成多数につき、議第 1 号は承認といたします。

次に、議第 2 号「デマンド小坂の見直しについて」事務局より説明をお願いします。

▲事務局

【議第 2 号の説明】

◆市長

この件に関しまして実質 1 回しか会議が行われていない。7 月豪雨災害での小坂の被害が大きかった関係でなかなか開催できず最終的には書面評決という事になったが、小坂の連合会長さん、この件に関しましてご意見があればよろしくお願いします。

◆小坂地域自治会連合会会長・今井様

やはり問題となるのはデマンドバスとなり 3 時間前までに予約がいる事。この 3 時間がなかなか長く予約時間の短縮の話が上がっている。予約時間についての意見が多く出ている。時刻表の変更で利用者の方からも評価してもらえている事は良い事だが、一例で言うと「鹿山線で高山の接続が不便。特に昼の便」高齢者からは「土、日の便がもう少し便利になってほしい」と意見がある。濃飛バスさんがやってみえた時はもう少し高齢者の利用があったのではないかと。それに比べると減っているように思う。まだ今年 2 年目という事で一気に完璧な物というのはいないし、これまでのようにバス停に立っていてバスに乗ればいいが乗客の数などの関係があるので徐々に数字を上げていってほしい。

▲事務局

現在はライドシステムさんのご努力下で当日 3 時間前の予約で乗れるように

なっている。ライドさんからは相談があれば変えていく事も可能と話を頂いている。チラシ上では「お急ぎの場合はご相談ください」と表現しているが、この事について野中社長ご意見ありましたらお願いします。

◆ライドシステム・野中委員

予約の件につきまして馬瀬の場合だと前日。当日の予約というのは弊社も頑張らして 3 時間前までの予約でできた。デマンドは始まったばかりという事でこれからも努力してもっと短くできるようにしていきたい。今のところ所はこれが今できる努力とお断りになってしまい申し訳ないがご理解頂ければと思う。

◆市長

デマンドという事でこの予約制に関して他の市町も同じ問題を抱えていると思うが先生の方から何かご意見はありますでしょうか？

◆岐阜大学・倉内教授

前年度の会議ではこの予約について利用者にとっては厳しいという議論が出て事業者さんにも努力頂き 3 時間前までの予約が可能になった。確か事情は車を持っていくまでに時間がかかるという事だったと思うが、本来は各場所に個人タクシーなどのタクシー事業者があればいいと思う。その辺りの兼ね合いになってしまっているとは思う。とりあえずは今の状況で対応していくしかないと思う。

◆岐阜運輸支局・久世委員

厳しい事を言うかもしれないがデマンドは他の自治体など通常前日予約。3 時間前までの予約と聞いて正直凄いなと思った。急なご利用ならタクシーを使ってくれという話になる。そこは使い分けて頂く必要があるし、何が何でもデマンドで対応ではなくタクシー事業も公共交通の位置付けになっているので、「急なご利用はタクシーを利用」「計画的な利用はデマンド」そういう使い分けをしてもらう必要がある。交通事業者も大変だし働く担い手不足の問題もある。地方によっては若い人の労働力もなく非常に厳しい問題。ある意味、公共事業者さんばかりに無理を言い過ぎると今度は安全性が確保されなくなる危険性もある。だから市民の方にも現在の状況を理解してもらった上でこのシステムをご利用して頂く必要がある。

◆市長

我々も含め住民の方々には、まだまだデマンドバスというものについての理解が足りない。逆に言えば、事務方で「デマンドバスとはこういうものだ」「タクシーとデマンドを使い分ける必要がある」という事を伝えていく必要がある。今までのバスのように好きな時に使えるという認識でいる人が多い

し、私も実際そのような認識でいた。その辺りをもう少し丁寧に地元の方に説明していく必要がある。

事務局では「デマンドとはこういうものだ」という細かい説明をしたことがあるのか？

■課長

デマンドの実績としまして、下呂ではデマンド中原・上原があり稼働率が非常に上がった。というものの事あるごとに地域の方にデマンドの使い方をレクチャーしてきて少しずつ伸びてきている。デマンド小坂、馬瀬もそうだが今年度からデマンドのシステムを入れた地域になるので、これからデマンドをPR、使い方をレクチャーしていくように生活課内ではあるが話をしている。来年度デマンドへの意識を高める意味でもそのような活動をしていきたい。

◆下呂温泉観光協会会長・瀧委員

デマンドなんていう英語を使う時点で間違っている。日本なので日本語で分かりやすい言葉にした方がいい。デマンドと聞くと凄く違和感を感じる。高齢者の利用も多いので「予約バス」「計画バス」みたいな分かるような言葉に変えて欲しい。

◆市長

下呂連合会の細江さんの方から実際に運用した話を伺っているが、何かご意見などがありますか？

◆下呂地域自治会連合会副会長・細江様

中原地域では 5 年ほど前からデマンドの利用が始まっている。元々は「焼石駅から金山へ繋がるバスがない」という所から始まったが、最初は延べで 10 人足らずしか利用がなかった。今やっと倍くらいの利用まで上がった。名前に関しては、やはり最初は「デマンドとはなんだ？」という所から出発したが今更変えてほしくはない。デマンドとは予約のバスだという事はある程度周知できている。正直市役所に住民への説明をお願いするのも難しい話で、私どもの地区でも 1000 人程の住民がいるが住民一人一人にデマンドの説明をしてくのは市役所の仕事では厳しいと思う。分かりやすい資料を作って頂きそれをもっていろんな会合の段階がたくさんあるので、高齢者が集まるような団体に区、自治会がメインになってPRしていく。未だに大多数の声が「予約をするのが面倒」という声。お金のない下呂市でどうお金を使っていくか自治会として理解して頂く事も私たちの責任だと思っている。

只今の説明に、ご質問ご意見はございませんか？
(質問、意見が出つくしたら)

それでは、他に無いようですので、採決いたします。賛成の方は挙手をお願いいたします。挙手全員につき、議第2号は承認いたします。

◆市長

次に、議第3号「げろバス金山東線の時刻表の改正について」事務局より説明をお願いします。

▲事務局

【議第3号の説明】

有路課長の方から補足などありましたらお願いします。

◆濃飛バス・有路委員（代理）

時刻改正につきましては下呂市の方からお話頂きまして、乗務員の運用上は6時44分着のバスが折り返しますので、15分早く出ることは可能だが、現場の乗務員に聞き取りを行ったところJRからの乗り換えのお客様がみえるという話だった。現時点では7時26分に祖師野で八幡バスに乗り換えるお客様がみえないという話だったので、どちらを優先するかという話になるが今回の現場の乗務員の話としてはこのままの方がいいのではないかという事だった。

◆市長

この事は地元の人知っているか？

▲事務局

まだ皆様の耳には入っていない状況ではあります。

◆市長

今のような状況ではございますが、ご意見頂けたらと思います。
どうでしょうか？

◆下呂温泉観光協会会長・瀧委員

今の話ちょっと気になるのが、もしこれを期待して動こうと思った人がいた場合に問題にならないのか？そこも確認されるといい。

◆市長

地元の方に対して本来なら事前に説明をされたうえでやられるのが筋なのでは？

▲事務局

金山から郡上の高校へ進学するような子がいるのではないかと？という事で中学校の方へヒアリングを取らせてもらったが、来年度は志望される方はい

ないという事だった。よって通学利用はないものと考えた。言い訳がましくはなるが急ぎで提案したものにもなるので以後周知していく予定。

◆市長

事業者としては理解してもらっている事は理解してもらえたらと思います。それでは、他に無いようですので、採決いたします。賛成の方は挙手をお願いいたします。挙手全員につき、議第3号は承認といたします。

これで、本日の協議事項は終了しました。皆様のご協力ありがとうございました。進行を事務局へ戻します。

4. 報告事項

■課長

それでは、会議次第の「4 報告事項」につきまして、事務局より説明します。

報第1号「地域公共交通等の新型コロナウイルス感染症感染防止対策事業交付金について」報告します。

▲事務局

【報第1号の説明】

■課長

只今の報告内容について、ご質問ご意見がございましたら、お受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

◆岐阜運輸支局・久世委員

国としましても今三次補正が出されまして、今後交通事業者に対して補助を行う予定となっている。だが限度もあり各自治体の交通事業者への支援を非常にありがたく思う。ちなみにこれは地方交付金を活用されたのか？

このような自治体の支援事例を他の自治体にも広げていきたい。またご報告いただければと思う。特に今は貸し切りバスが非常に厳しい。国としても今後支援していかなければと考えている中、各自治体の取り組みに感謝します。

◆岐阜県バス協会・上嶋委員（代理）

コロナの感染防止支援という事で厚く御礼申し上げます。乗合バス事業に加え、貸し切りバス、高速バスなども壊滅的な状況となっているが公共交通を守るべき一生懸命やっていますので今後ともよろしくお願いします。

◆岐阜県公共交通課・長谷部委員（代理）

県内のバスの利用者様からバスの窓が閉め切っていて不安に思ったという声が届いておりますが、今日の議会の話で出たような取り組みを行っていく

事で利用者さんの不安も払拭されていくと思う。交通事業者への支援、事業者の感染防止対策を今後ともお願いしたい。

◆下呂警察署・藤田委員

現場を確認しながら下呂市役所と連携をして停留所の位置を決めたりなどしている。警察としては事故防止が最優先。今後もバス停の位置を変えるなどの話が出た際には我々も立ち会わせてもらって一緒に考えていけたらと思う。

◆下呂維持出張所・田村委員（代理）

公共交通自体に私たちが直接何かを出来るということは少ないが、バス停スペースや安全性の事などでご相談がありましたら、出来る事については地域に貢献していきたいと思っている。

◆市長

下呂大橋の歩車分離式信号を今実験的に行っているが今後も今の形でやっていく予定か？

◆下呂警察署・藤田委員

9時～17時までは歩車分離式、17時から翌日9時までを定周期でやっていく。時間のサイクルについては渋滞の状況などに応じて変えていく事は可能。高山で歩車分離をやって不評だったという結果もある。そういった事も踏まえ時間のサイクルを変えたりなどの対応はできるので今後何かあればご意見頂きたい。

◆市長

下呂の大橋の歩車分離に関して評判は良いと聞いているが瀧会長、どうでしょうか？

◆下呂温泉観光協会会長・瀧委員

クロスで渡る人もでてきて良いと思う（笑）
何も違和感はないし、より安全性が増したと感じている。

◆市長

あそこをクロスに変えることはできるか？

◆下呂警察署・藤田委員

クロスにしようと思うとクロスの待機場所が必要になる。ただ17時～翌日9時までには定周期に戻す為、間違えてクロスで渡ってしまう人が出てくる可能性もあるので心配。今の形でクロスに横断すると違反になる。

◆下呂市連合自治会会長・西様

当初デマンドバスが計画された時にはいろんな問題が出るだろうと思っていた。実際自治会の話聞いても問題や要望が寄せられている。しかしありがたいのがそういう問題を早急に対応して頂けて、十分とはいかなくてもほぼ満足いただけたことに自治会として感謝したい。長い時間運行していく中でまた新たな問題が出てくると思うし、さらにより良い物をするという事が出てくる。またその時は今回のような速やかな対処をして頂けるとありがたい。

◆萩原地域自治会連合会会長・熊崎様

私は勉強不足でこのデマンドについて分からない事があった。前回も感じたのが地域の実態に即した支援をしていくのが市の方針だと思っている。それを上手い事声吸い上げてこのような事をしていく事が支援の一面だと感じている。利用や活用が少ないという一面もありますが、そうじゃなくて喜ばれている人がいるという事が下呂市の発展に繋がると思う。まだまだデマンドを知らない方々がいるのではないかと思いますので、もっともっとPRしていく。私自身も広く訴えていきたい。

5. その他

■課長

「5 その他」となっていますが、委員の皆様から、ご意見ご提案がありましたら、お受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

◆岐阜運輸支局・久世委員

安全対策が必要と判断したバス停リストの公表という事で岐阜県でもリスト化をした。岐阜県では384カ所。下呂市でも9カ所上がっている。今後濃飛バスや関係機関と協議を重ねバス停を移設するなり廃止するなり対策していく。利便性を追求するなら当然移設だが、どうしても移設先がないとなれば安全性が最優先なので廃止。このように今日本ではリスト化して危険なバス停をなくしていくという対策を取っているという現状を報告します。

◆濃飛バス・有路課長（代理）

今バス会社が置かれている状況を簡単に説明すると、高校生や通院の為に乗られている高山行の一般路線は、高校が再開した事により－14%に抑えられているが、地域路線はもともと大きな赤字を抱えている路線でその赤字分を観光路線、高速路線、貸し切り路線で穴埋めをしていた状況だった。しかしコロナ禍で高速路線は－87%、観光路線は－94%、貸し切り路線に関しては－99%という状況。経営がかなり危機的な状況となっているのでこういった支援を頂ける事が大変ありがたい事。お礼を申し上げます。それと高山下呂線で高山センターから各高校を回るバスがあるが、高校が休校時など利用がない時は運休とさせて頂く。

◆市長

コロナの支援金の話になるが、配布金の配分も金額も固まってきた。議会が3月25日から始まる。その議会の最中に皆様には支援策を発表できそうである。公共交通の支援も頭に入れながら幅広く皆さんを支援できるように考えている。

■課長

それでは最後に、会議の総評としまして、倉内先生、よろしくお願いします。

◆岐阜大学・倉内教授

前半の協議の所では地元の声を聞きながら努力されたという事で、少し資料が見にくいという話も出ましたが取り組みとしてはそれが大事なところで、想定とは少し違った所を今微調整している段階だと思うがこれからも実のある物になるようにご努力頂ければと思う。完成するものではないので、ニーズが変わってくるところを適切に捉えながら頑張って頂きたい。

■課長

有難うございました

閉会のあいさつを生活部長 藤澤が申し上げます。

6. 閉会

●部長

閉会の挨拶

■課長

有難うございました。本日は長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。帰路の際には、お気をつけてお帰りください。